

花戦さ (2016)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 127分
初公開日 2017/06/03
公開情報 東映
映倫 G

【キャッチコピー】

花で暴君を討つ！ その秘策とは？

【解説】

戦国時代末期に活躍した実在の花僧・池坊専好を主人公に、千利休との友情と、亡き友の無念を晴らすべく時の権力者・豊臣秀吉に花で立ち向かっていく姿を描いた鬼塚忠の時代小説『花いくさ』を「陰陽師」「のぼうの城」の野村萬斎主演で映画化。共演は市川猿之助、佐藤浩市、中井貴一、佐々木蔵之介。監督は「小川の辺」「起終点駅 ターミナル」の篠原哲雄。

戦国時代。京の中心・六角堂に変わり者の花僧・池坊専好がいた。ある日、誰もが恐れる織田信長の前でいけばなを披露することに。そしてその席で出会った千利休と豊臣秀吉が、後に専好の運命を大きく変えていく。それから十数年。秀吉は天下人として世に君臨し、利休はその茶頭となっていた。そんな利休と再会した専好は、茶と花の違いはあれど共に美を追い求める者同士、互いに認め合い友情を深めていった。一方、秀吉の専横ぶりはいよいよ手が付けられなくなり、ついに利休もその毒牙にかかって命を落としてしまう。やがて専好は暴君と化した秀吉に対し、花でもって敢然と立ち向かう一世一代の大勝負に出るのだったが…。

【クレジット】

監督	篠原哲雄	Tetsuo Shinohara
製作	木下直哉 村松秀信 間宮登良松 竹田和平 藤本俊介	
企画	小滝祥平 榎望 小助川典子 志岐隆史 森谷雄	
エグゼクティブプロデューサー	市村友一 山本昌仁 河越誠剛 竹田幸生 吉川英作 種家純	
プロデューサー	加藤和夫	

	柳迫成彦	
	坂本建士	
	福井栄治	
	石井至	
	加藤悦弘	
アソシエイトプロデューサー	加藤秀晃	
	木村照彦	
	青木孝雄	
	山野隼	
	大澤保夫	
	徳山雅也	
原作	鬼塚忠	『花いくさ』 (KADOKAWA刊)
脚本	森下佳子	
脚本協力	長谷川康夫	
	中西健二	
撮影	喜久村徳章	
美術	倉田智子	
衣裳	松田和夫	
	真柴紀子	
編集	阿部互英	
音楽	久石譲	Joe Hisaishi
題字	金澤翔子	
茶道指導	鈴木宗卓	
照明	長田達也	
録音	尾崎聡	
語り	篠田三郎	
スーパーバイザー	遠藤茂行	
装飾	中込秀志	
VFXスーパーバイザー	浅野秀二	
スク립ター	森直子	
助監督	山田敏久	
劇中絵画	小松美羽	
出演	野村萬斎	池坊専好
	市川猿之助	豊臣秀吉
	高橋克実	吉右衛門
	山内圭哉	池坊専伯
	和田正人	池坊専武
	森川葵	れん
	江藤漢斎	
	黒田大輔	
	山田幸伸	
	河原健二	
	関秀人	
	まつむら真弓	

海老瀬はな
木内義一
伊東蒼
中井貴一
吉田栄作
竹下景子
佐々木蔵之介
佐藤浩市

織田信長
石田三成
浄椿尼
前田利家
千利休